

範教錬士会理事会資料 (H24. 3. 17) 【範資料*2/2】

平成24年度事業計画

1 北陸三県範教錬士会

開催日時：平成24年3月31日（土）～4月1日（日）

開催場所：石川県立武道館弓道場

講師：範士八段 淵元魏先生（愛知県） [※宇佐美義光範士の代理]

2 石川県範教錬士会

(1) 平成24年度の開催方針

昨年度開催した県範教錬士会の基本方針・方法等を継続する。

県連会員を講師として、

①体配および射技の基本の研修、②それらの自らのレベルの再認識（気づき）、③弓具の知識や使用筋肉の確認などの研修、④相互研修による指導技術の研鑽を開催。

この他、外部講師を招聘して、

⑤理論編（歴史や文化など）及び⑥体配・射技の講習、を計画したいと思います。

細部については、今後会員の意見を聞いて実施します。

なお、指導部及び審査部との連携は従来通りです。

(2) 開催予定日（県連行事日程に掲載）

①H24. 8. 18（土）～19日（日）

②H24. 10. 20（土）～21日（日）

開催場所はいずれも小松市弓道場の予定です。

3 その他

(1) 会員（称号者）への要請

①県連会員の資質向上のための各種講習会には、指導部から適宜講師依頼があります。

中・高校生等に対しては平日や夕方などもありますが、出来るだけご協力願います。

②毎年の伝達講習会は、称号者の受講を必須としています。また、全日本弓道選手権（男女）、全日本遠的選手権（男女）の県内予選会の参加者も近年はかなり少ない状況です。

皆さんにはできる限りご参加をお願いします。

③県連行事のうち、講習会の講師、審査会の審査員、各種大会での審判員等について、称号者の皆さんには積極的なご参加、ご協力をお願いします。

(2) 全日本弓道連盟の方針への協力

全日本弓道連盟が公益財団法人となりましたが、その第3条の目的は以下の通りです。

「この法人は、日本固有の伝統文化である弓道の継承及び斯道の普及振興に関する事業を行い、国民体力の向上とスポーツ精神の涵養に資し、もって社会文化の進展に寄与することを目的とする。」

石川県弓道連盟はその加盟団体として、新しい全弓連の目的に賛同して事業を推進することになります。その中核をなすのが称号者だと思っておりますので、会員の皆様にはご協力をお願いします。